

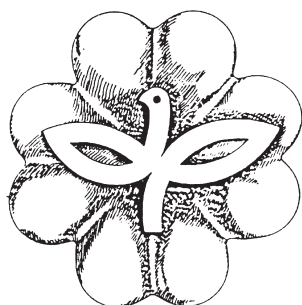
発行：野々市市民生委員児童委員協議会

ののいち 民児協だより

第8号
令和元年6月



老人福祉センター椿荘の清掃奉仕



民生委員・児童委員は民生委員法に基づき、各市町村に置かれる民間奉仕者です。委員は都道府県知事の推薦に基づく厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は3年です。



「地域共生社会」は自分ごと

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

石川県下の多くの市町が人口減少傾向にある中で、私たちが住む野々市市は人口増加が続き、ご承知のように住みやすさランキングでも全国の上位にランクづけられています。また、昨年は女性の平均寿命で全国5位との報道もありました。

野々市市は、平成二十四年にまちづくりの道しるべとして「第一次市総合計画」を示し、さらにそれに基づき「地域福祉計画・地域福祉活動計画」が策定されました。これらの計画は、人口増加や新しい街並みの創出、そして、そこに住む子どもからお年寄りまで障がい者も含めすべての人々が「自らも参加し、楽しく、安全で安心で、元気に過ごせる」地域づくりを目指しているものです。近年、そのような社会を「地域共生社会」と言います。昔は、地域における人のつながりは密接でしたが、今では、希薄になって来てい

ます。しかしながら、自然災害時や高齢で体が不自由になった時など、緊急時はもちろん日常でも、遠い親戚より近くの他人と言われるように地域のつながりがあったほうが安全、安心につながるが多いと思います。このことから今では、「地域共生社会」に向けて自分のこととして受け止められるよう環境整備が進められています。

全国民生委員児童委員連合会



椿荘清掃奉仕活動 5月12日

は、一昨年制度創設一〇〇周年を迎え、今後に向けて活動の柱として人々の笑顔、安全、安心のために活動強化方策が示されました。これは、野々市市の総合計画、地域福祉計画の目指すところと同じであり、「地域共生社会」の実現に向けたものです。

今後、各地区の民生委員児童委員協議会は、従来の基本的活動を引き継ぎながら地域の問題を掘り起こし実情に合わせ発展させ、対応を進めることが求められています。これからも私たち民生委員・児童委員は、常に地域で支援を必要とする人に寄り添い、地域の全ての方々の信頼と協力を得ながら活動を進めてまいります。

なお、今年の十二月には民生委員・児童委員の一斉改選が行なわれますが、これらの活動は引き継がれてまいりますので、皆様の変わらぬ信頼とご協力をお願い申し上げます。



民児協本町地区定例会 7月20日

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。

県外研修を終えて

研修日 令和元年 五月十六日(木)

研修先

ハンセン病療養施設

国立療養所 邑久光明園おくこうみょうえん(岡山県瀬戸内市)

ハンセン病は、以前「癩病(ら いびょう)」「癩」「らい」などと呼ばれ、不治の病、遺伝病、天刑病と考えられ、長い間忌み嫌われた時代が過ぎました。そのため、この病気に罹った人とその家族が、言われなき偏見や差別に苦しんで来ました。

ハンセン病は、らい菌による慢性の感染症ですが、感染力は非常に弱く、日常生活で感染することはほとんどありません。しかし、ハンセン病に感染するとそのらい菌が末梢神経や皮膚で増殖するため、顔や手足の変形や機能障害をきたし、見た目でわかる後遺症を残すことから、社会の誤解、偏見や差別の対象となってきました。現在では、治療法も確立され、早期治療によって後遺症を残すことなく治癒する病です。



全国にはハンセン病療養所は十四箇所(国立十三、私立一)ありますが、その一つの邑久光明園は、岡山県邑久郡(現瀬戸内市)の長島に一九三八年開園されました。この長島は、本土からわずか三十メートルしか離れていない瀬

戸内海の美しい島ですが、その海峡は、潮の流れが速く患者を社会から隔絶し、人々の悲しみや苦悩を離島に封じ込めたものでもありました。

現在では、この海峡に人間回復の橋とも言える邑久長島大橋がかけてられています。今回この橋を通りこの地を訪れ、人権侵害の爪痕である施設を目の当たりにして、二度とこのような問題を繰り返さないよう心を新たにすることができました。このような人権侵害問題は、ハンセン病に限らず、我々の地域で形を変えて起こることが



あり、自らが人権侵害を行う側か、受ける側かわかりませんがそこに関わる可能性がないとは言えません。

今回三年に一回行なわれる民児協の県外研修で邑久光明園訪問をさせて頂きハンセン病の理解を深め、なぜ、このような問題が起ったのか、人権問題について学ぶことができました。今後、参加者一同は、地域共生社会に向け、民生委員・児童委員活動をはじめ地域福祉の活動にこの研修を生かして行きたいと考えています。

ひろば

生活福祉委員会にて学ぶ！

生活福祉委員 林 正一



生活福祉に関する諸制度は、年々めざましく発展し、変動しました。

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、「要支援者の把握」と「見守り活動」等の実践・継続を行っています。また、行政・関係機関への「つなぎ役」としても、住民からその制度の理解と説



生活福祉委員会 1月25日

明が求められています。

生活福祉委員会では、生活困窮者自立支援制度を始めとした諸制度について研修しました。

平成から令和へと時代が移り変わっても、民生委員・児童委員の本分を忘れず、本委員会の研修成果を踏まえ、更に自主研鑽を積み、制度の内容を理解し、丁寧な説明に心がけて、その趣旨を伝えていきたいと思えます。

日頃の活動から学ぶこと

障害者福祉委員 山本 峰子



昨年、研修会等に参加し、障がいを持つ方々の体験を聞く機会を得、教えられたことを紹介します。

一人目は三十九歳で若天性アルツハイマー型認知症と診断された方です。苦悩、家庭、仕事と病氣と向き合う中で、自立するためには、病氣によつてできないことを手助けしてほしいと言われたことが印象的でした。

二人目は岡山県の視覚障がい者の方です。点字ブロック発祥の地が岡山県で、警告と誘導の二種類の点



障害者福祉委員会 6月21日

字ブロックが歩行を助けていることや、交差点の信号の音が東西と南北で違うこと、白い杖を持った人が困っている姿を見かけたら、声をかけてほしいことなど、日頃の生活で当たり前のように入り過ぎていたことが、多くあることに気づかされました。

理解することに努め、一人ひとりのニーズに寄り添い、役に立つような振舞ができるように、日々研鑽をしていきたいと思っています。

員会の活動



児童福祉委員会 11月22日



高齢者福祉委員会 8月8日

児童福祉委員会の活動

児童福祉委員 吉本 章男



今期、児童福祉委員会の活動方針を委員間で打ち合わせ、具体的な問題について講演していただきました。

テーマは多岐に亘りますが、身近な問題を取り上げました。本テーマとして不登校・いじめ・非行・児童の発達障害の他、子どもと保護者を取り巻く環境等について、関係者の方々に実態に即した講演にさせていただきました。



児童福祉委員会 9月13日

また、施設見学では社会の一員として共生する事を理念に教育している県立明和特別支援学校の見学を行いました。三二四名の生徒を一七六名の先生が手厚く見ており、授業や実習も見学し感銘を受け、大変有意義な研修でした。

昨今、家族の児童虐待で死に至る事件が報道されており。

我々、民生委員・児童委員は小さな異常も見逃さず、関係機関につなぐよう活動していきたいと思えます。

今年は更に現場指向の活動を企画し、各委員の識見を高めていきたいと思えます。

介護サービスが選べる時代

高齢者福祉委員 松田 芳美



日本は、国民の四人に一人が六十五歳以上という超高齢者社会です。

私も町内のひとり暮らし高齢者宅に月に一度お声掛けをして日々の生活の様子や困っていることを聞いたりしています。その中の九十四歳のおばあちゃんは「ずっと我が家に居たい」が口癖です。

平成三十年度の高齢者福祉委員会では、市内にある特別養護老人ホームや色々なタイプの施設見学に行きました。

ある小規模多機能型居宅介護施設に併設されたこども園では、お年寄りや幼児がふれあいながら日常的にアットホームな生活を送っている様子に心が和んだ一日でした。

施設は多種多様な目的や役割で分類されていることを知りました。その人に合った介護サービスが選べる時代です。住み慣れた地域で最後まで過せるような社会づくりを目指して高齢者の皆さんの幸せを願うものです。



高齢者福祉委員会 8月8日

福祉専門委



障害者福祉委員会 11月28日



生活福祉委員会 3月22日

活動あれこれ

民生委員・児童委員は、住民の立場に立って幅広い支援活動を行っています。全体研修会・地区研修会・福祉専門委員会研修会を通して様々な福祉問題について学んでいます。その中からいくつかの活動を紹介します。



福祉推進員との合同研修会 2月22日



地区定例会グループワーク 11月20日



〈独自の活動〉



椿荘清掃奉仕 5月12日



任期末県外研修会 5月16~18日



民生委員の日 5月12日



総会 4月26日

地区別研修会 各地区ごとに目的を定め、研修を行いました。

本町地区



講演とグループワーク 11月2日

富奥地区



災害について研修 11月7日

郷・押野地区



グループワーク 11月17日

〈 行政および関係機関との協力活動 〉



※お年寄りと子どものフェスティバル 9月23日



※ひとり暮らし高齢者
会食会
10月29日

ひとり暮らし高齢者宅障子張替（商工会青年部）12月2日



※歳末たすけあい施設慰問出発式 12月21日



※障害者スポーツ交流大会 10月14日



※ミニ門松作り 12月27日



※赤い羽根共同募金 10月20日

※野々市市社会福祉協議会主催

民児協だより

主任児童委員つてご存知ですか？

主任児童委員 宮前 一夫

わたくしたち主任児童委員は、民生委員・児童委員の中でも特に〇歳から十八歳までの乳幼児から児童・生徒までを対象に見守っています。

現在は、九名の主任児童委員が、各地区で活動しています。

主な活動は、日常的な地域での登下校の見守りをはじめ、保育園、幼稚園、こども園、小中学校の各種行事への参加、参観を通して子ども達の支援が中心になります。

例年四月には、小中学校の入学式に臨席し、また各小学校においては、その後、新入生の保護者の皆様に、民生委員・児童委員と主任児童委員としての自己紹介も行い、活動の理解を求めています。

そして、五月からは市内の各小中学校においての「愛と和」のいち五万

人あいさつ運動」も始まり、運動期間中はもとより、恒常的に学校玄関周辺や、子どもたちの通学路での見守り活動をしています。

このような保育園や幼稚園、小中学校行事へ参加するとともに、少しでも地域の子ども達に接する機会を持つことを心がけています。

全国的には、子どもの相対的貧困、虐待、いじめ、不登校などが問題となっており、この野々市市も決して例外ではありません。そうした中、少しでも子育て世代の保護者の方々に、子ども達と日常活動において触れ合っていくことを大切に心がけています。

子育てや子どもの成長に悩んだら、まずは、身近な地域の主任児童委員に遠慮なくご相談ください。



つばき保育園表現会 2月23日



新入生父兄への挨拶 4月8日

令和元年6月1日 第8号(通巻31号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169

編集後記

最近、痛ましい事故などのニュースが流れておりますが、私たちに明るい話題が元号として訪れてきました。「明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いが込められた「令和」の年、私たち民生委員・児童委員の改選も行われます。

3年間、いろいろな研修会(全体研修・地区研修・福祉委員会研修等)、講演会、グループワークなどを通じて民生委員の在り方を学んできました。来期も続ける方、今期で辞める方とおられると思いますが、学んだ事を地域社会の中で生かしていけたらいいなと思っています。民児協だより発行にあたり、3年間ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。